

食材高騰というなら、市の財政支援こそ

経済危機の影響で

学校給食の大幅値上げ 困ります

小中学校の給食費の大幅値上げを、飯塚市の給食審議会（佐藤清和会長）が答申しようとしています。日本共産党市議団は、市が財政支援して値上げはやめるべきだと訴えています。



給食審議会が答申へ

小学生 600円増 **3900 円**

中学生 780円増 **4700 円**

小学生は600円アップで3900円、中学生は780円アップで4700円。保護者の負担は、あわせて約7500万円増えることとなります。

学校給食の来年度予算は市議会の議決が必要ですが、値上げそのものは市の判断だけでおこなえることになっています。

経済危機の影響で食材が高騰し、子どもに必要な栄養を確保した献立にするために、やむをえないという議論が行われています。

しかし、経済危機のツケをそのまま、子どもと子育て世代に回すのは、あまりにひどいやり方です。たとえば、名古屋事務所や鯉田工業団地づくりの予算を削れば、財政支援は十分にできます。

給食審議会は、国、県はもちろん、市に財政支援を求め、値上げ答申はやめるべきです。

鯉田工業団地やめ、お金を子どもにまわせ